

2021年 9月 2日  
大阪市立デザイン教育研究所  
大阪市立大学  
西日本旅客鉄道株式会社

## 大阪市立デザイン教育研究所 × 大阪市立大学 × JR西日本による 「こどもスキマ転落防止プロジェクト」を展開します

西日本旅客鉄道株式会社(以下、JR西日本)は、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」における到達目標の一つとして、お客様が死傷する鉄道人身障害事故のさらなる削減を掲げ、お客様の安全を確保するための様々な取り組みを進めております。

その一つに、ホームと列車の隙間(スキマ)転落防止の取り組みがあります。JR西日本大阪支社エリアでは、過去3年間で把握している隙間転落事象(約100件)のうち、10歳未満の方が約3割を占めています。これを防ぐため、これまでは保護者様に対し「お子様と手をつないでご乗車していただく」よう、「隙間注意喚起シール」の設置などで、お伝えしてまいりました。

今回、こうした保護者様への啓発活動に加えて、お子様にホームと列車の隙間を認知していただけるような取り組みを行うこととしました。お子様ご自身に興味をもっていただけるよう、デザインは大阪市立デザイン教育研究所(以下デザイン教育研究所)にご協力いただき、より効果的な啓発内容を研究してまいりました。また、大阪市立大学には、啓発活動の効果分析に関してご協力いただいております。

この共同研究により取りまとめた啓発活動の有効性について、下記のとおり実証実験を行いますのでお知らせいたします。

### 記

#### 【こどもスキマ転落防止プロジェクト実証実験】

##### (1)概要

「スキマモリ」というオリジナルキャラクターを起用し、アニメーションやイラストで列車に乗降の際のホームとの「スキマ」をお子様にもわかりやすく示すことで、親子で手をつないで乗降いただけるような啓発活動を実施します。

また、実証実験の事前、事後にアンケート調査を行い、お客様の行動や意識がどの程度変化したかを測り、今後の啓発活動を計画するうえでの指標とします。

##### (2)実施期間・場所

日程：啓発活動 …2021年9月6日(月)～9月26日(日)  
アンケート…2021年9月4・5日、25・26日(両土日)  
場所：天王寺駅

##### (3)具体的な取り組み(別紙参照)

- ①デジタルサイネージによる啓発アニメーション放映
- ②ポスター掲示による啓発
- ③キャンペーンによる行動・意識の変化量を測るアンケートの実施

##### (4)その他

「スキマモリ」のキャラクターを起用した絵本を9月下旬頃に大阪市内の幼稚園等に配布(予定)

スキマモリ



## 【プロジェクトコンセプト】

子どもはおばけや妖怪など、「こわいもの」に興味をひかれ、《こわいもの見たさ＝こわいけど気になる、おもしろい》という心理を持つことから、あえて「ちょっと「こわい」見た目の妖怪」をキャラクターに起用することとしました。

## プロジェクトロゴ



## キャラクタービジュアル「スキマモリ」



## 【実証実験コンテンツ】

## ① デジタルサイネージ用啓発アニメーション (1種)



保護者が目を離した隙に、お子様がスキマに転落、「スキマモリ」がお子様をすくい上げる

## ② ポスター

## 転落防止啓発ポスター (2種)



## プロジェクトポスター



## キャラクターポスター



## ③ アンケートカード

折り曲げになっており、開くと中からイラストが飛び出す仕組みにすることで、子どもが何度も開いて遊び、スキマの危険を学ぶような仕掛けとします。

## おもて面



## 中面

